

水産業強化支援事業事後評価報告書

		千葉県	
政策目的		令和元年房総半島台風（15号）により被災した種苗生産施設等の修繕	
政策目標		資源増殖目標	31-5
事業実施主体		千葉県	
実施地区名		新富地区、白浜地区	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		令和元年度～2年度	令和4年度
交付金額		24,935,000円	
事業計画の内容		令和元年房総半島台風（15号）により被災したクルマエビ種苗生産施設、アワビ・ヒラメ中間育成施設の修繕	
評価	成果目標	第7次栽培漁業基本計画（計画当時）に基づく目標放流数量を達成する。 ※令和4年5月に第8次栽培漁業基本計画を策定。目標放流数量は変更なし。	
		現状値	（令和4年度末時点） クルマエビ675万尾 アワビ115万個（他施設含む） ヒラメ109万尾（他施設含む） 計 900万尾
		目標値	（令和4年度末） クルマエビ600万尾 アワビ160万個（他施設含む） ヒラメ94万尾（他施設含む） 計 854万尾
	（1）現状値の説明		・令和4年度に放流を行った各種苗の実績数量を記載。
	（2）地域への経済効果 （ハード事業のみ）		・放流効果について、令和3年時点の回収率を算出しているヒラメ及びアワビの合計では、漁業による増加量として、約86トン、約6億円と推定されている。

	(3) 所見	・クルマエビ及びヒラメは目標を上回っているが、アワビについては、令和2年度から発生している原因不明のへい死が令和4年度も発生したため、計画を下回っている。
	(4) 評価機関の意見等	
今後の改善方向等に関する分析		・クルマエビ・ヒラメについては、引き続き目標数量の放流を実施するべく、種苗生産を行っていく。 ・アワビについては、飼育環境の一層の向上に努めるなど、より多くの種苗を放流できるよう、生産の安定化を図る。